

企業内技術士交流会

ヒューマンネットワークによる新時代のクリエイト

入会のご案内

企業内技術士交流会は、企業の技術士が企業さらに業種の壁を超えて交流し、その中から自らの技術力を磨き、また新しいビジネスチャンスを生み出し、育てて、企業の発展と社会貢献に寄与していくことをめざしております。

会員数は、会員企業 85 社代表、準会員 3 名、特別会員 14 名の合計 102 名(*1)で構成し、年 2 回の会報発行のほか、定例会、講演会、見学会を各年 2 回および企業内技術士シンポジウムを開催しています。

*1 2011 年 10 月 20 日現在

社会のニーズに応えるために

公益社団法人 日本技術士会登録
企業内技術士交流会

会長 西脇 芳文
(建設部門)



ご案内する企業内技術士交流会は、公益社団法人日本技術士会の登録グループとして、平成元年に設立された組織です。

本会は、技術士の持つ潜在的専門能力を基礎に、人的交流、相互啓発、情報交換等を通して異業種企業間の交流を図り、企業に所属する技術士の自己研鑽を通して、企業の発展に寄与することを主な目的として、さまざまな活動を展開して今日に至っております。

具体的には、各種講演会、シンポジウム、各種施設の見学会などの行事を行っており、企業に所属している技術士の自己研鑽と、社会のニーズに応えるためのお手伝いをする組織であります。

平成 12 年に技術士法が改正され、施行されております。新法では、技術士に課せられる要件のひとつとして CPD（継続教育）を取り上げており、生涯に亘る自己研鑽を勧めております。企業におります技術士が、企業の発展と社会貢献を果たすためには、専門分野外の知識を積極的に求め、広く社会のニーズを知り、会員相互の自己研鑽を通じて、技術力と高い見識を磨く事が大切であります。

ここに、幅広い話題や情報に触れる機会の多い当交流会に入会され、貴社に所属する技術士が社会のニーズを知り、社会の期待に応える活動を推進するため、心から、入会のお勧めをいたします。

活動の柱となる部会活動と行事

広報部会



広報部会では、本会の会報を9月と3月の年間2回（通巻44号）発行して会員相互の交流を図っています。また、インターネット上ではホームページを開設し、交流会の活動状況などを広報しております。今後は、会員間の交流に役立つ充実したホームページにしていきたいと考えています。

定例会：行事部会

定例会は、時宜を得た有識者による基調講演と会員企業の保有技術の紹介および懇親会を主体として開催しています。定例会の開催回数は61回を数え、「ヒューマンネットワークの構築と異業種企業の交流」という面で大きな効果を挙げています。

また、最近では、会員企業の施設見学を含めた種々の企画の実施により、技術士の自己研鑽にも役立つ行事として、多数の会員が参加し交流を深めています。

第57回 技術紹介：アジア航測(株)

第58回 講演：『ビッグバンを再現する究極の加速器』を支える日本の先端技術
技術紹介：(株)日立プラントテクノロジー

第59回 講演：「ITと減災」 東京大学名誉教授 竹内郁雄先生
技術紹介：株式会社東芝

第60回 講演：『土木を撮る』世界遺産を目指す日本の近代土木遺産 西山芳一氏
技術紹介：清水建設(株)

第61回 講演：『東日本大震災からの教訓と今後の課題』中央大学教授 石原研而氏
技術紹介：ライト工業(株)

講演会：行事部会

技術士交流会の幅広い人脈を生かし、各界で活躍されている方々にお願いして、年2回の講演会を開催しています。



第30回 環境と省エネルギー

第31回 国土交通省「環境行動計画2008」

第32回 地球環境に対する企業の取組み・環境問題に対する企業のアクションプラン

第33回 生物多様性民間参画ガイドライン案について

第34回 トヨタプリウスの開発

第36回 裁判員制度

第37回 電腦空間に迫る脅威と情報セキュリティ政策

見学会：行事部会

企業内技術士交流会の大きなメリットは、なんと言っても人脈の広さです。この人脈をフルに活用して、普通のルートでは決して見られない各種の研究所・施設・工場などを対象として見学会を開催しています。

特に、見学先の技術者の皆様との質疑応答では、私達の技術的な好奇心も十分満たされると思います。開催は年に2回、関東圏内が対象です。

第32回 国立天文台および東大天文センター

第33回 日本航空(株) 羽田新整備工場

第34回 東京都勝島ポンプ所流入管 地下シールド工事現場

第35回 東京スカイツリー

シンポジウム部会

企業内技術士シンポジウムは社会の潮流を把握し、またそれに応える技術のあり方を探る企画であり、企業内技術士交流会のみならず日本技術士会会員全体を対象とした事業です。100名を超える参加者が集い、例年10月に開催しています。

企業内技術士交流会に参加している企業は産業界全般をカバーしており、その中核で活躍している技術者が当交流会に参加しています。シンポジウムに集まった技術者が技術を媒介としたヒューマンネットワークを形成できる交流の場づくりとしても大いに役立っています。



記念シンポジウム(2009)

2006年

『日本これからのものづくり』

2007年

『CO₂削減への取組について』

2008年

『エネルギー問題－新エネルギーとビジネスチャンス』

2009年 設立20周年記念

『素粒子から宇宙への架け橋 - スーパーカミオンデ - 』

2010年

『水問題と水ビジネス』

企画部会

平成12年4月技術士法の改正により、技術士については継続教育(CPD:Continuing Professional Development)が求められ、3年間150時間の継続教育が必要となりました。

企業内技術士交流会では、以前より講演会、研修会、見学会等を開催しており、これらは継続教育の履修単位として認定することができます。会員企業の技術士なら誰でも安価で参加できますので、非常に経済的です。

また、若手技術士を増やすための修習技術者制度も制定されました。これは優れた指導者による監督の下での業務経歴を技術士受験要件として優遇する制度です。この制度を活用するためには、修習プログラムの作成が求められます。当交流会では、この面でも積極的な支援体制を検討していく予定ですのでご期待ください。

会員企業

2011年10月20日現在 85社 : 50音順

アイレック技建(株)
 (株)朝日工業社
 アジア航測(株)
 E S 東芝エンジニアリング(株)
 (株)エイト日本技術開発
 NEC
 NTTアドバンステクノロジー(株)
 NTTインフラネット(株)
 NTT関係技術士の会
 応用地質(株)
 オーク設備工業 (株)
 (株)オリエンタルコンサルタンツ
 オルガノ(株)
 鹿島建設(株)
 鹿島道路(株)
 川崎重工業(株)
 川崎地質(株)
 (株)関電工
 (株)カンドー
 (株)京三製作所
 (株)協和エクシオ
 (株)熊谷組
 ケイ・テクノ(株)
 ケミカルグラウト(株)
 (株)建設技術研究所
 光通電気設計(株)
 (株)コミュニューチャ
 (有)佐野テクノコンサルタンツ
 清水建設(株)

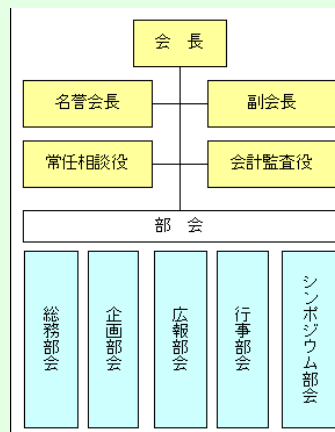
須賀工業(株)
 住友電設(株)
 大成建設(株)
 太平洋セメント(株)グループ
 太陽鉄工(株)
 高砂熱学工業(株)
 (株)竹中土木
 中央開発(株)
 中央電気工事(株)
 千代田化工建設(株)
 通信土木コンサルタンツ(株)
 鉄建建設(株)
 電気化学工業(株)
 電気技術開発(株)
 (株)電業社機械製作所
 東急車輛製造(株)
 (株)東芝
 東芝プラントシステム(株)
 (株)東設土木コンサルタンツ
 東電設計(株)
 東電タウンプランニング(株)
 (株)東電通
 東洋建設(株)
 トーヨーカネツ(株)
 戸田建設(株)
 飛島建設(株)
 (株)巴コーポレーション
 中日本建設コンサルタンツ(株)
 那須電機鉄工(株)

西松建設(株)
 日揮(株)
 (株)日さく
 日鉄環境エンジニアリング(株)
 (株)日特建設
 (株)日本工営(株)
 日本コムシス(株)
 日本信号(株)
 日本ファシリオ(株)
 (株)間組
 パシフィックコンサルタンツ(株)
 (株)長谷工コーポレーション
 (株)ピーエス三菱
 日立技術士会(5口)
 富士通(株)グループ
 富士電機(株)グループ
 前田建設工業(株)
 前田道路(株)
 (株)間瀬コンサルタンツ
 三井住友建設(株)
 (株)三菱地所設計
 (株)明電舎
 メトロ設計(株)
 (株)山下設計
 (株)ユアテック
 ライト工業(株)
 和興エンジニアリング(株)

組 織

活動にあたって事業を推進すべく、交流会内部に右図に示す5つの部会を組織しています。

なお、入会の皆様には、全員参加による活動を実践していただくため、総務部会、企画部会、広報部会、行事部会、シンポジウム部会のいずれかに登録し、参加していただいております。



ご入会の方法

下記、連絡担当または発行責任者Eメール・アドレスに入会資料をご請求下さい

紹介者： _____

お問い合わせ先

東電設計(株) 事業部 岡田 仁
 〒110-0015 東京都台東区東上野 3-3-3
 TEL:03-6372-5900 FAX:03-6372-5400
 E-mail:h_okada@tepsco.co.jp

2011年10月20日
 公益社団法人日本技術士会登録
 企業内技術士交流会
 会長 西脇 芳文
 発行責任者 岡田 仁

企業内技術士交流会ホームページ <http://www.ipej-kigyonai.jp/>